



令和 3 年度エイジフレンドリーパートナーの取組について

エイジフレンドリーパートナーは、年度毎の取組状況および目標達成状況等について、本市に報告書を提出することとなっており、令和 3 年度分の報告書を提出した 112 事業者（令和 3 年度上半期までの登録事業者数）の取組について以下にまとめた。

1 報告概要

- (1) 報告対象者 エイジフレンドリーパートナー 112 事業者
(令和 3 年度上半期までの登録事業者数)
- (2) 取組対象期間 令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 3 1 日
- (3) 事業者報告期間 令和 4 年 4 月 5 日～令和 4 年 4 月 2 8 日

2 主要 4 項目取組実施状況

(1) 認知症サポーター養成講座受講者数

	令和 3 年度末の状況
講座受講した人数（累計）	2,180人(+40)

昨年度から 40 人増、取組実施事業者数は 8 事業者となった。そのうち 2 事業者はオンライン講座での受講を実施した。

(2) ベンチ、椅子等設置事業者数

	令和 3 年度末の状況
設置したパートナー数	29事業者(+1)

昨年度比 1 事業者増となった。コロナ禍において、ベンチ、いすの新規設置は見送られる傾向にあった。

(3) AED 設置事業者数

	令和 3 年度末の状況
設置したパートナー数	27 事業者(+5)

昨年度比 5 事業者増となった。AED は高額かつ耐用期間があること、設置後の講習がコロナ禍で出来ないため設置を見送ったという声が聞かれた。

(4) 65 歳以上の高齢者雇用数(新規雇用、継続雇用)

	令和 3 年度末の状況
新規雇用者数	53 人(+18)
再雇用・継続雇用者数	228 人(-113)

新規雇用は昨年度比 18 人(16 事業所)増となったが、再雇用、継続雇用は 113 人(30 事業所)減少した。「今年度は採用等見送ったが、積極的に高齢者雇用は続けていく」との報告が多数あった。

3 令和3年度において工夫のあった取組

取組目標	結果
認知症患者の家族や認知症に関心のある方を招き交流する場を設ける	交流の場「笑顔カフェ」の開催は見送ったが、「笑顔通信」を発行するなど情報の発信に努めた
高齢者向けの情報提供	感染症対策で冊子やリーフレットの設置を取り止め、店内の壁面に健康情報を掲示した
認知症サポーター養成講座受講	感染症対策で受講は控えたが、オンラインでの研修会に参加した
高齢者向け下宿居住者への送迎サービス	新型コロナウイルスワクチン接種の予約や、会場への送迎のほか希望者へ病院受診を行った
高齢者向け教室の開催	コロナ禍でデジタルの必要性を感じている高齢者向けにスマホ教室や、ZOOM教室などを中心に講座を実施した

4 取組状況総評

コロナ禍にあって、昨年度に引き続きイベントなど実施の見通しが立たず、掲げていた取組の実施が困難となったというパートナーは全体の51.8%と約半数となった。

このような状況においても、前出の取組のように創意工夫を凝らし、実施形態の変更や少人数での開催など状況に柔軟に対応した新たな取組が見られた。

本市としても令和4年度に実施するプロモーション事業を通して、パートナー事業者と連携を図り、エイジフレンドリーシティ実現のさらなる推進に努めていく。また併せて幅広い業種のパートナー事業者の拡充に取り組む。